

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局文化部文化企画課 教育委員会中央図書館運営企画課
評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	①北九州市立黒崎文化ホール (黒崎ひびしんホール) ②北九州市立八幡西図書館	施設類型	目的・機能
	所在地	① 北九州市八幡西区岸の浦二丁目1番1号 ② 北九州市八幡西区岸の浦二丁目2番1号	I I	④ ⑤
	設置目的	① 演劇、音楽その他の利用に供することにより市民文化の向上に資する。 ② 図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する(図書館法第2条)。		
利用料金制		非利用料金制 <input type="checkbox"/> ・ 一部利用料金制 <input type="checkbox"/> ・ 完全利用料金制 <input type="checkbox"/> インセンティブ制 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/> ペナルティ制 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>		
指定管理者	名称	株式会社黒崎コミュニティサービス		
	所在地	北九州市小倉北区米町二丁目2番1号		
指定管理業務の内容		1 市が定める業務 (1) 黒崎ひびしんホールの管理運営に関する業務 (2) 貸館に関する業務 (3) 芸術文化事業の実施に関する業務 (4) 提案事業 2 教育委員会が定める業務 (1) 管理運営に関する業務 館長業務(館の運営統括、関係機関・団体等との連絡調整等)、庶務業務(委託業務の経理、人事、広報等)、窓口サービス業務(受付、案内、登録、貸出、返却、レファレンス等)、蔵書管理(選書候補推薦、蔵書整理、排架、蔵書点検、補修、統計等)		

	<p>(2) 読書奨励等に関する業務 読書会、講演会、読み聞かせ会、子育て支援事業、展示等</p> <p>(3) その他業務 複写サービス、ボランティア活動支援、指定期間終了時の事務引継ぎ（はじめての絵本事業）ほか</p> <p>(4) 提案事業 特別教養講座、子どものおはなし会・おりがみ教室、職員出前講座、職員出前読み聞かせ会他</p>
指定期間	平成 24 年 7 月 1 日～令和 9 年 6 月 30 日

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント																	
1	施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み																
	(1) 施設の設置目的の達成																
	① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。																
	② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。																
	③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。																
	④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。																
	【所見】																
	① 【黒崎ひびしんホール】																
	<大ホール> 目標値に対する比較（稼働率）																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>稼働率</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>65%</td> <td>65%</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>54.8%</td> <td>27.6%</td> <td>42.1%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>84.3%</td> <td>42.5%</td> <td>64.8%</td> </tr> </tbody> </table>	稼働率	R1年度	R2年度	R3年度	目標値	65%	65%	65%	実績	54.8%	27.6%	42.1%	達成率	84.3%	42.5%	64.8%
稼働率	R1年度	R2年度	R3年度														
目標値	65%	65%	65%														
実績	54.8%	27.6%	42.1%														
達成率	84.3%	42.5%	64.8%														
	<中ホール> 目標値に対する比較（稼働率）																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>稼働率</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>70%</td> <td>70%</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>69.5%</td> <td>29.9%</td> <td>54.0%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>99.3%</td> <td>42.7%</td> <td>77.1%</td> </tr> </tbody> </table>	稼働率	R1年度	R2年度	R3年度	目標値	70%	70%	70%	実績	69.5%	29.9%	54.0%	達成率	99.3%	42.7%	77.1%
稼働率	R1年度	R2年度	R3年度														
目標値	70%	70%	70%														
実績	69.5%	29.9%	54.0%														
達成率	99.3%	42.7%	77.1%														

＜練習室＞目標値に対する比較（利用者数）

稼働率	R1年度	R2年度	R3年度
目標値	40,000人	40,000人	40,000人
実績	40,424人	10,585人	21,721人
達成率	101.1%	26.5%	54.3%

ホールの利用状況について、稼働率の目標値に対する達成率は、大ホールが64.8%、中ホールが77.1%であった。昨年に比べ回復傾向ではあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響で5/10から6/20まで、さらに8/18から9/30まで施設が休館となり、その後も人数制限等の様々な施設利用における制約や、さらには緊急事態宣言等による外出自粛の影響を受け、達成率はコロナ前の水準までには戻らなかった。

【八幡西図書館】

目標値に対する比較（利用者数）（単位：人）

	R2年度	R3年度	平均値
目標値	320,000	320,000	320,000
実績	163,577	232,164	197,871
達成率	51.1%	72.6%	61.8%

目標値に対する比較（貸出冊数）（単位：冊）

	R2年度	R3年度	平均値
目標値	400,000	400,000	400,000
実績	387,713	487,605	437,659
達成率	96.9%	121.9%	109.4%

令和3年度の利用者数が目標値を下回っているのは、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館（令和3年5月12日から5月20日まで）を行った影響が大きいと考えられる。一方で、貸出冊数は、前年度の実績を大きく上回ったうえで目標値も達成しており、評価できる。

② 【黒崎ひびしんホール】

令和3年度は下記のとおり、芸術文化事業を7事業、利用者を中心とした催しを2事業実施した。（全事業9事業、来場者2,862人）

□芸術文化事業（7事業）

1 東アジア文化都市北九州2020▶21（53人）

馬頭琴とジャズコンサート

モンゴルの風を感じて、スーホーの白い馬によせて

- 2 岡田将ピアノリサイタル (112 人)
- 3 サントペテルブルグ室内合奏団 (150 人)
クリスマス／アヴェマリア～寒さの中に暖かく灯る “冬の名曲集”
- 4 アストル・ピアソラ生誕100年記念 (354 人)
小松亮太五重奏 with 日野真一郎
- 5 作家林真理子のトーク・コンサート (230 人)
マリコとオペラ
- 6 KOBUDO-古武道-～尺八・チェロ・ピアノコンサート (257 人)
- 7 松田理奈ヴァイオリンリサイタル ピアノ 實川 風 (112 人)

□利用者を中心とした催し (2 事業)

- 1 北九州マリンバオーケストラ RIM Concert Vol.8 (530 人)
- 2 新きたきゅう音楽塾 in 黒崎 (1,064 人)

□その他 (2 事業)

【民間企画事業】2 事業※新型コロナウイルス感染症防止のため中止

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止・延期の事業が相次いだ中で育成型、鑑賞型を主に開催した。また、2021年まで延長となった「東アジア文化都市2020-21北九州」開催実施に合わせ、さまざまな芸術文化事業を実施した。

音楽鑑賞事業として、「馬頭琴とジャズコンサート」や旧八幡市民会館から引き継がれたスタインウェイ359を使用した「岡田将ピアノリサイタル」を実施した。「サントペテルブルグ室内合奏団 クリスマス／アヴェマリア」では海外招聘での実施となった。

また今年度ならではの公演として、「小松亮太五重奏 with 日野真一郎」では生誕100年を迎えるピアソラの音楽を北九州観光大使でもある日野真一郎氏の歌声で観客を魅了した。

「マリコとオペラ」では、オペラに関する林真理子さんの造詣の深いトークを交えた、オペラ初心者に向けたプログラムで音楽の裾野を広げることにより寄与した公演となった。

利用者を中心にした催しでは、「北九州マリンバオーケストラ RIM」は今年で8回目のコンサートとなり、毎年地域に密着した活動は多くの人に認知されるようになっている。

通年事業として、毎月開催の「新きたきゅう音楽塾 in 黒崎」では地元北九州のアーティストを講師に迎え安価で気軽に参加できる鑑賞の機会を提供している。

中止となった事業もあったが、コロナ禍でも創意工夫し、市民が優れた芸術文化に触れる機会を提供することで、本市の文化振興及び黒崎地区の賑わいづくりに大きく貢献したものと高く評価できる。

【八幡西図書館】

令和2年度から3年度にかけて、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した行事もあったが、その中でも、感染防止対策を講じながら「読み聞かせ会」や「読書会」をはじめ、「ほんのふくぶくろ（3冊の本を詰めた福袋の貸出）」など各種行事を実施（計77回）したことは評価できる。

③ 【ホール及び図書館共通】

「黒崎文化・交流拠点地区」は、黒崎ひびしんホールと八幡西図書館の2施設を一体的に管理している。

駐車場は、利用者が相互の駐車場を利用できるようにして利便性を図った（満車の場合に案内）。また、自衛消防訓練を合同で実施し、連携を深めた。

④ 【黒崎ひびしんホール】

- ・ホームページやフェイスブック、ツイッターで、イベント情報や施設案内などの情報発信を行っている。
- ・市広報、「かるかる」等の情報誌を通じて広報を実施した。
- ・市内各市民センターへイベントチラシの配布を実施した。
- ・新聞広告による広範囲な情報発信を実施した。
- ・ホール利用者友の会「ファンタジア」会員へ、毎月イベント情報及びホール催事案内の送付を実施している。
- ・館内にデジタルサイネージを設置し、イベント情報等の案内を実施した。
- ・市内モノレール駅やバスセンター公告掲示板にポスター掲示を実施した。

【八幡西図書館】

児童向け広報紙「元キッズ」を毎月発行し、近隣の小学校や子どもの館に配布するとともに、中学生以上向け広報紙「ティーンズだより」を3か月に1回発行し、区内全中学校やユースステーションに配布するほか、一般向けに新刊案内を作成・配布し、利用者への情報提供を行っている。

また、八幡西図書館が独自に開設しているホームページ上において、新情報やランキング、イベント情報などの案内を毎月更新している。

（2）利用者の満足度

- | | |
|---|--|
| ① | 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 |
| ② | 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。 |
| ③ | 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。 |
| ④ | 利用者への情報提供が十分になされたか。 |
| ⑤ | その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。 |

【所 見】

① **【黒崎ひびしんホール】**

＜大ホール＞

満足度	R1年度	R2年度	R3年度
目標値	80%	80%	80%
総合評価	100%	100%	100%
利用の問い合わせ・予約	99%	100%	100%
事務スタッフの対応	100%	100%	100%
技術スタッフの対応	99%	100%	100%

＜中ホール＞

満足度	R1年度	R2年度	R3年度
目標値	80%	80%	80%
総合評価	100%	100%	100%
利用の問い合わせ・予約	99%	100%	100%
事務スタッフの対応	100%	99%	100%
技術スタッフの対応	99%	100%	100%

「総合評価」での満足度については、大ホール及び中ホールとも 100%で高い評価であった。各項目についても目標を大きく上回り、利用者の評価は高い。これからも研修などを通じて職員の対応能力の向上に努め、利用者の視点に立った助言や支援を行うことが大切である。

【八幡西図書館】

令和3年度に実施したアンケートによれば、「図書の並べ方」について、満足とした回答が、令和2年度より約10ポイント高い91.5%となっている。

また、「対応の親切さ」、「明確な説明」についても、回答者の8割以上が満足であると回答し、市民の満足度が高いものと評価できる。

各サービスへの満足度 [八幡西図書館]

満足度は全回答者のうち、「非常に満足」「満足」と回答した人数の割合

	R2年度	R3年度	平均値
対応の親切さ	84.0%	89.5%	86.8%
明確な説明	92.0%	85.0%	88.5%
図書の並べ方	81.3%	91.5%	86.4%

② 【黒崎ひびしんホール】

利用者アンケートに加え、窓口へ「ご意見箱」の設置や「利用者意見交換会」を実施し、利用者の意見の把握、対応を行っている。

【八幡西図書館】

利用者アンケートに加え、2階及び3階の閲覧室に意見箱を設置して利用者からの苦情・要望・意見を広く募り、業務に活かしている。また、意見を踏まえた対応を館内掲示で回答するなど、評価できるものである。

③ 【黒崎ひびしんホール】

利用者からの意見・要望に対して改善を行い丁寧な対応を行った。

【八幡西図書館】

利用者の苦情・要望等については、基本的には図書館内で、場合によっては本社で対策を協議した上で、当該利用者へ説明し理解を求めるなど、迅速な対応が図られている。また、中央図書館への報告も適切である。

【ホール及び図書館共通】

毎月の職員会議においても、苦情・要望に対する改善点をお互いに出し合い、利用者から指摘される前に改善することを心がけている。

④ 【黒崎ひびしんホール】

ホール利用者友の会「ファンタジア」の会員に向けて、ホールに関することやイベントの情報発信を行った。また、ホームページ、フェイスブックを利用してイベント公演前や公演後の最新情報、近隣施設案内等の発信を行った。

【八幡西図書館】

児童向け広報紙や八幡西図書館のホームページで、イベントの情報やお勧めの本の紹介を行うなど、常に最新の情報提供を行った。

⑤ 【黒崎ひびしんホール】

スリッパ等物販サービス、録画・録音サービス、宅配弁当会社の紹介などを実施し、利用者の利便性を向上させる取り組みを継続して行った。また、オンライン予約をスタートさせるなど率先して利便性向上を図っている。

【八幡西図書館】

北九州市保健福祉局と連携し、認知症や発達障害啓発の特別展示を行った後も、利用者の関心が高かった認知症関連の書籍については、常設の別置コーナーを新設するなど、機を逃さず利用者のニーズに合ったサービス

を提供する取組みを行った。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ② 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【所 見】

【黒崎ひびしんホール】

サービス購入料の実績

(単位：千円)

指定管理料	R1年度	R2年度	R3年度
予算	181,690	183,265	183,265
決算(インセンティブを含む)	181,349	181,786	182,918
うち光熱水費 (決算全体に占める割合)	12,253 (6.8%)	10,439 (5.7%)	12,560 (6.9%)
うち再委託料 (決算全体に占める割合)	47,757 (26.3%)	52,503 (28.9%)	53,499 (29.2%)

【八幡西図書館】

サービス購入料の実績

(単位：千円)

指定管理料	R2年度	R3年度
予算	170,213	163,405
決算	170,213	163,405
うち光熱水費 (決算全体に占める割合)	4,329 (2.5%)	5,055 (3.1%)
うち再委託料 (決算全体に占める割合)	14,630 (8.6%)	14,630 (9.0%)

① 【黒崎ひびしんホール】

施設や設備管理に実績のある自社ノウハウを生かすとともに、発注の際は必ず複数の業者から見積もりを取る、用紙等の消耗品については、一括大量購入することで費用を抑える、等により経費の低減を図りつつ、職員にも節約を意識付けた。

【八幡西図書館】

令和3年度の指定管理料については、インセンティブ分の減少に伴い減額となっている。予算額と決算額が全く同一であるが、光熱水費の節約や再委託料の適正な支出に取り組みつつ、図書館の設置目的の達成に必要な支出と併せ、限られた予算をバランスよく執行できていると評価する。

② 【黒崎ひびしんホール】

再委託については、委託先と年度ごとに委託内容の見直しを行うことや、職員でできる業務は委託等の発注項目から削除する等、経費が最小限となるよう取り組み、費用を抑えた契約を行っている。

【八幡西図書館】

再委託料については、施設や設備管理に実績のある自社ノウハウを生かすとともに、「発注の際は必ず複数の業者から見積もりを取る」、「委託先と年度ごとの単価の引き下げ交渉を行う」、「職員でできる業務は委託等の発注項目から削除する」等を通じて経費の低減を図った結果、再委託料は前年度と同額で推移している。

③ 【黒崎ひびしんホール】

光熱費の節約については、

- ・デマンドチェッカーを設置し、最大電力量を抑える
- ・日中など不要な電灯は消灯する
- ・夏は窓のブラインドを閉めて室温の上昇を抑える
- ・ホールのシャワーは利用者が少ないため、利用希望に応じて湯を沸かす等の対策を継続的に実施している。

【八幡西図書館】

光熱水費については、不要な電灯は消灯する、夏は窓のブラインドを閉めて室温の上昇を抑える等の対策を継続的に実施している。

しかしながら、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館や、開館時間の短縮を実施したことによる立入制限期間が、令和2年度に比べて大幅に減少し、相対的に開館時間が伸びたことに加え、これに伴って来館者数も増加したことを受け、光熱水費が指定管理料に占める金額、割合共に前年度を上回っている。

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

【所 見】

【黒崎ひびしんホール】

収 入	R1 年度	R2 年度	R3 年度
使用料収入（決算）	42,773 千円	21,841 千円	31,685 千円

新型コロナウイルス感染症の影響で休館や人数制限等の様々な施設利用における制約があったが、前年比 45%増となり回復の兆しがみられた。

なお、八幡西図書館については、同施設の使用料収入はない。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

【所 見】

① 【黒崎ひびしんホール】

組織体制については、地域との連携を図る地域コーディネーターとして館長、総務運営部門を統括する総務課長を配置し、効果的かつ効率的な運営に努めてきた。

【八幡西図書館】

職員 20 人中 17 人が司書資格を有しており、市の基準（75%）を 10 ポイント上回っている。このため、資格の有無による職員配置を考慮する必要がなく、合理的な配置ができている。

② 【黒崎ひびしんホール】

ホール運営スタッフは、採用時に公立文化会館運営に必要な業務及び危機管理、接遇、個人情報管理、文書管理、苦情処理、保守点検業務等の集合研修 4 日間の日程で受講している。

また、パート職員についても、業務知識、緊急対応、接遇、個人情報管理、法令遵守等必要な講習を実施している。

その他、職員相互の接客状況をチェックし改善を図るバディサポートの実施や、「あったらいいなサービス」と題してアンケート調査を行い、集計結果を共有することでサービス改善に努めた。

【八幡西図書館】

サービスの質を維持・向上していくために、令和 3 年度は館内での研修のほか、各種研修の動画配信視聴などオンラインによる研修への参加

を積極的に行うなど、コロナ禍での前向きな取り組みは評価できる。

また、消火器の取扱い等について学ぶといった消防訓練を行うなど、非常時にも冷静沈着に対応し、利用者の安全確保ができるよう取り組んだ。

③ 【黒崎ひびしんホール】

年間を通して、それぞれの事業において、地元の音楽家を数多く出演させる等、積極的に地元との連携、協働の姿勢が見られた。

特に、「新きたきゅう音楽塾」では、地元で活躍するアーティストと協働することにより、地元音楽家へ活動の場を提供した。

また、地元商店街のイベントとタイアップした事業を企画し、準備を進めてきたが新型コロナウイルス感染症により中止となった。

【八幡西図書館】

近隣の8つの小学校から施設見学の受け入れを行い、図書館のPRに努めるとともに、近隣の中学校6校ほか高校1校に対し図書館カード申込書を配布し、ヤングアダルト世代へ利用を呼びかけた。

また、幼稚園や小学校への図書館だよりの配布や、ティーンズコーナー掲示板での情報発信など、次世代の育成を支援する図書館としての役割を果たしている。

地域との連携では、地元のユースステーションと連携し、七夕短冊展示や本の木企画を行ったほか、北九州市立大学図書館をはじめとした地元大学図書館へ幅広い資料の提供を行った。

このように、広く様々な団体等との連携や協同を図っており、大いに評価できる。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。

② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。

③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。

④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。

⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。

⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。

⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

[所 見]

① 【ホール及び図書館共通】

「個人情報の保護に関する法律」、「北九州市個人情報保護条例」ならびに「北九州市情報セキュリティポリシー」に基づき、個人情報の適正な取り扱いを確保するとともに、個人情報保護に関して、企業として、プライバシーマーク（個人情報の適切な保護措置を講ずる体制を有する事業者の証明：日本産業規格）を取得し、研修等を通じて個人情報の重要性を徹底して教育した。

② 【黒崎ひびしんホール】

ホールにおいて利用希望日が競合した場合は、抽選により平等な条件の下で決定するなど、適切に処理を行った。

【八幡西図書館】

図書館内の利用案内や注意書きなど POP を作成して周知を図るとともに、大活字本コーナーを充実させ、高齢者の利便性を高めた。また、自動貸出機については、不慣れな方や高齢者などへ利用方法を案内するなど、個々の状況に応じたきめ細やかな対応を行い、利用者が平等に利用できるよう配慮した。

③ 該当なし

④ 【ホール及び図書館共通】

経理事務処理及び施設維持に係るモニタリング実施結果から、経理事務及び施設管理運営とも適正に行われている。

⑤ 【ホール及び図書館共通】

館内、館外の巡回の際に、危険と思われる箇所や改善すべき点について日常から留意し、必要に応じて自主的な対応を行ったほか、所管課への報告を行った。

⑥ 【黒崎ひびしんホール】

危機対応マニュアルや緊急時に備えた職員の連絡網を整備し、災害等に対する職員への意識を高め、職員への周知を徹底した。

ホールでは、各室へつながる廊下のドアには電子ロック式のセキュリティ対策を行っており、利用者以外が簡単に侵入できないよう対応した。

【八幡西図書館】

警備員による定期的な巡回に加え、図書館職員による館内巡視を実施し、犯罪やトラブルの未然防止に努めた。

また、開館中は、館長・次長・窓口業務責任者のうち、必ず1名以上が常駐するとともに、緊急時に備えて図書館職員の連絡網を整備し、併せて、災害等に対する職員の意識を常日頃から高めることを徹底した。

⑦ 【ホール及び図書館共通】

事故発生時や非常時については、館長、次長、ならびに窓口業務責任者は、速やかに事態を把握し、場合によっては本社と対応を協議しながら、迅速に対応を行った。

【総合評価】

[所見]

黒崎ひびしんホールにおいては、新型コロナウイルス感染症による影響で施設の稼働率や練習室の利用者数は目標値を達成することはできなかったが、前年比では上昇傾向であり回復の兆しがみられた。このような中でも自主事業を9事業実施するなど地域の文化振興に貢献した。

また、感染症対策として利用制限の内容が刻一刻と変化する中で、柔軟な対応を行い円滑なホール運営を行った。

八幡西図書館について昨年度も、一昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の渦中での図書館運営であり、一部目標値の未達成など依然として厳しい館運営を余儀なくされたが、全体的に、前年度実績を上回っている。絵本の読み聞かせ会など一部イベントの中止があったものの、新たな工夫によるイベント開催や地域団体等との連携など、館運営の前向きな取り組みは、評価できるものである。

また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館があったものの、貸出冊数は目標値の121.9%と大きく上回り、良好なサービスが提供されている。

今後も、利用者のニーズに配慮した質の高いサービスを提供するとともに、館運営についても、絶え間ない経費の効果的・効率的な執行に努められたい。

[今後の対応]

黒崎ひびしんホールにおいては、引き続き地域の芸術文化振興に寄与するとともに黒崎地区のにぎわいづくりにもつながるよう、様々な文化事業を展開していただきたい。

また八幡西図書館について、指定管理者と運営業務受託者の権限と責任が混乱している場合が多々見受けられる。昨年度より、事業契約書に基づく対応の徹底を指定管理者と運営業務受託者の双方に指導しているところであり、引き続き業務遂行の混乱がないように指導していく。